

中学歴史プリント（過去問類似）

鎌倉時代

名前

得点

/8

問1 北条泰時が制定した「御成敗式目」の内容や特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2015年 佐賀公立入試 類似）

1. 源頼朝以来の先例や、武士社会の慣習をもとにして作られた。
2. 朝廷が定めた律令を重んじ、公家社会の法を武士に強制した。
3. 室町幕府が政治の基本方針を示すために、足利尊氏が制定した。
4. 江戸幕府が諸大名を統制し、城の修築などを制限するために制定した。

問2 後醍醐天皇が鎌倉幕府を倒した後に始めた「建武の新政」について、その政治の実態と歴史的背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2025年 東京都公立入試 類似）

1. 天皇が中心となって公家を重用する政治を行ったが、恩賞の不公平さなどから武士の不満が高まり、わずか数年で崩壊した。
2. 幕府を倒した功績により足利尊氏を征夷大将軍に任命し、武士の権利を全面的に認める強力な武家政治を確立した。
3. 律令制度を完全に復活させるため、全国の土地を公地公民とし、班田収授法に基づく税制を再び実施した。
4. 仏教の力で国家の安定を図るため、全国に国分寺を建立し、東大寺の大仏造営を通じて天皇の権威を高めた。

問3 7世紀から14世紀初頭にかけての日本の仏教文化に関する4つの出来事（聖武天皇による国分寺建立の詔、最澄による天台宗の開教、奥州藤原氏による中尊寺金色堂の建立、運慶らによる東大寺南大門金剛力士像の制作）を、発生した時期の古い順に正しく並べているものはどれですか。（2026年 高知公立入試 類似）

1. 国分寺建立の詔（奈良時代）→ 最澄による天台宗の開教（平安時代初期）→ 中尊寺金色堂の建立（平安時代末期）→ 運慶らの金剛力士像制作（鎌倉時代）
2. 最澄による天台宗の開教（平安時代初期）→ 国分寺建立の詔（奈良時代）→ 中尊寺金色堂の建立（平安時代末期）→ 運慶らの金剛力士像制作（鎌倉時代）
3. 国分寺建立の詔（奈良時代）→ 中尊寺金色堂の建立（平安時代末期）→ 最澄による天台宗の開教（平安時代初期）→ 運慶らの金剛力士像制作（鎌倉時代）
4. 国分寺建立の詔（奈良時代）→ 最澄による天台宗の開教（平安時代初期）→ 運慶らの金剛力士像制作（鎌倉時代）→ 中尊寺金色堂の建立（平安時代末期）

問4 鎌倉時代の文化において、「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり…」という一節で知られる軍記物語があります。この物語が、文字を読めない庶民の間にも広く普及した理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 琵琶を弾きながら語り歩く琵琶法師によって、各地で語り伝えられたため
2. 朝廷が公式な歴史書として認め、各地の役所に書き写させたため
3. 活版印刷の技術が普及し、安価な本として大量に出版されたため
4. 寺子屋で読み書きの教科書として広く採用されたため

問5 鎌倉時代の御家人の間で行われていた、父親の領地を複数の子に分けて引き継がせる仕組みについて述べた説明として、最も適切なものはどれですか。なお、この仕組みでは、世代を重ねるごとに個々の御家人が持つ領地が小さくなるという特徴がありました。（2024年 千葉県公立入試 類似）

1. 個々の領地が縮小し、御家人が経済的に困窮する原因となった。
2. 長男のみがすべてを継ぐことで、一族の領地と勢力が維持された。
3. 幕府が領地を一度回収し、功績のある別の武士へ再分配した。
4. 領地が細分化されることで、農業の生産効率が劇的に向上した。

問6 『平家物語』の冒頭には「娑羅双樹（さらそうじゅ）の花の色、盛者必衰（じょうしゃひっすい）の理（ことわり）をあらわす」という言葉があります。この物語の全体を貫いている、万物は常に変化し同じ状態にとどまることはないという仏教的な考え方を何といいますか。（2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 諸行無常
2. 極楽浄土
3. 質実剛健
4. 神仏習合

問7 鎌倉時代の1232年、執権の北条泰時が制定した、武士の慣習に基づき裁判を公平に行うための基準を定めた法典はどれですか。（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 御成敗式目
2. 武家諸法度
3. 公事方御定書
4. 十七条の憲法

問8 鎌倉時代に全国に配置された「守護」と「地頭」の役割や設置場所の違いについて、正しい説明はどれですか。（2017年 愛媛公立入試 類似）

1. 守護は国ごとに置かれて主に軍事や警察の任務を担い、地頭は荘園や公領ごとに置かれて年貢の徴収や土地の管理を担った。
2. 守護は荘園領主として現地の経済を支配し、地頭は国司の下で地方行政の実務や朝廷への報告を担当した。
3. 守護は幕府の最高職として政治全般を補佐し、地頭は幕府が直轄する都市の治安維持とキリスト教の取り締まりを行った。
4. 守護は東日本の警備のために臨時に任命され、地頭は西日本の有力武士を監視するために京都の六波羅に常駐した。